

# 図書館だより



- 「盗難防止装置」の設置について ..... P1
- 2008 読書週間について ..... P2~3
- 郷土の文化人 その7 山田 宗睦 ..... P4



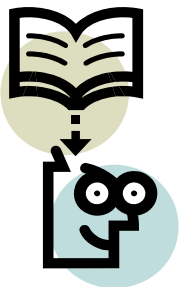
ふじさわ

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>  
 (携帯電話版) <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/i/>

## 利用環境の向上を目指して!

### ~すべての市民図書館に「盗難防止装置」を設置しました~

2009年1月から、市民図書館の資料の亡失を防ぎ利用環境の向上を図るために、総合市民図書館・南市民図書館・辻堂市民図書館に「盗難防止装置」を設置いたしました。(湘南大庭市民図書館は、既に設置しています。)



(カウンターに貸出・返却用機器を設置)



(盗難防止ゲートを設置)

#### \*\*\* お願い \*\*\*

今回設置しました「盗難防止装置」は、正規の貸出手続きを行わずに資料を館外へ持ち運ぼうとした場合、音声にて手続きの確認をお知らせいたします。そのため館外に資料をお持ちになる場合には、必ずカウンターにて手続きしていただきますようお願いいたします。

- 【市民図書館】 総合市民図書館 (Tel.43-1111) 南市民図書館 (Tel.27-1044) 辻堂市民図書館 (Tel.35-0028)  
 湘南大庭市民図書館 (Tel.86-1666)
- 【市民図書室】 長後 (Tel.43-7655) 明治 (Tel.35-7095) 辻堂 (Tel.35-7076) 村岡 (Tel.28-6939)  
 片瀬 (Tel.28-6935) 遠藤 (Tel.88-6235) 六会 (Tel.83-4686) 善行 (Tel.83-4687)  
 藤沢 (Tel.28-6895) 鶴沼 (Tel.35-7096) 御所見 (Tel.48-4675)



# 総合市民図書館

## ◆初の図書館まつり開催！

11月1日（土）総合市民図書館中庭で行われました。当日はリサイクル図書の提供、紙芝居、資料検索講習・館内見学のほか、地域の皆様による模擬店の参加で大盛況となりました。



## ◆「子ども樹木博士」に挑戦しよう！ ～ feel the Nature ～ (11月9日)

講師：日本大学生物資源科学部教授井上公基先生  
と森林利用・住宅研究室のみなさん

実のなる木や葉っぱが色づく木など15種類の樹木について、見て、ふれて、おはなしを聞きながら、長久保公園内を散策しました。その後、樹木に関する本の紹介や展示も行いました。すがすがしい園内で、樹木を満喫した1日になりました。



樹木についての説明にみんな夢中です！



最後に、認定証をいただきました。たくさんの「子ども樹木博士」が誕生しました！

# 2008 読書週間

## ◆講演会 源氏物語千年紀 特別講座 「はじめての源氏物語」全3回 (10月3、17、31日)

講師：古典研究誌「並木の里」主宰 増淵勝一氏

『源氏物語』が紫式部により執筆されてから、昨年で千年。3回シリーズの講座を通して、千年もの長い間読み継がれてきた物語文学の魅力に触れました。会場は全回満員！熱心に資料を見ながら講師の話に耳を傾けている姿が印象的で増淵氏の「声に出して読むことが大切」という言葉により、毎回の講義の最後には全員で原文を音読しました。



## ◆講演会 イタリア貴族養成講座 ～ルネッサンス貴族のおたしなみ～ (11月15日)

講師：カウンターテナー 彌勒忠史氏

「皆さま、お昼は十分に召し上がりましたか？これから私がするのは非常におなかのすく講義です！」と開口一番に話された通り、話の中心はルネッサンス期の宮廷料理のこと。料理の画像やレシピ、当時の貴重なバンケット資料を見ながら、イタリア貴族の豪華絢爛な生活について講演されました。彌勒氏の歌も披露され、最後はファララ〜♪と大合唱で締めくくり。笑いの絶えない2時間の講演。世界が広がる楽しい講演会になりました。



## ◆コンサートと映画のつどい (10月25日) 演奏：湘南マンドリン・ギター・アンサンブル

5回目を迎えたマンドリン・コンサートに、寄贈記念としてゲストのピアノの演奏もあり、満員大好評。引き続いて映画「ニュー・シネマ・パラダイス」を鑑賞。

## ◆映画会と講演会の集い (10月26日) 講師：川又 昂氏

9月の第1回目に引き続き、映画上映と、その後、戦後松竹映画を支えた撮影監督、川又昂氏をお迎えしての楽しい裏話！熱心な聴衆に大好評でした。

# 南市民図書館

## ◆子どもマンガ教室 (11月2日、11月9日) 講師：漫画家 大山哲也氏

漫画家の大山氏を迎え、先生が実際に原稿を描く様子を見てから、子どもたちに原稿を描いてもらいました。皆とても積極的に質問して、Gペンの使い方やスクリーントーンの貼り方などを教わり、すてきな作品が仕上がりました。原稿は後日製本して、子どもたちに配布しました。

## ◆読書週間子どものつどい (11月5日)

大型絵本や大型紙芝居、ペープサートなどを50人ほどの親子連れが楽しんでくれました。子どもたちの笑い声や拍手の中、大盛況のうちに終了しました。



大型絵本「ぐるんぱのようちえん」を楽しむ子どもたち

## ◆鎌倉文学散歩 講師：文芸評論家 島津勝昭氏

学習会 (10月28日)  
テーマ「鎌倉海岸ゆかりの文学(者)」 「鎌倉と歌舞伎」

現地見学 (10月29日)  
JR 鎌倉駅→本覚寺→常栄寺→木下利玄・米川稔旧居跡→松方正義・島津忠重別荘跡→海岸橋→厨川白村「材木座恋愛館」跡→海浜公園(昼食)→鎌倉海浜ホテル跡→高浜虚子庵跡・句碑→稲瀬川→三橋旅館跡→長谷駅(江ノ電)

参加者からは「これを機に鎌倉・湘南に関する文芸作品に触れてみたい」「来年も参加したい」など、好評な回答が多く寄せられました。天候にも恵まれ無事終了することができました。

# 辻堂市民図書館

## ◆講演会「辻堂を語る一今に伝わる豊かな歴史」 講師：郷土史家 大石静雄氏 (11月3日)

郷土の歴史を長年研究されている大石氏を迎えて、辻堂の地名にまつわるお話や西行法師と源頼朝をテーマに講演会を行いました。

西行法師が東大寺復興勸進行脚で辻堂をとおり、源頼朝にあつては、相模川の橋供養に行った帰りに辻堂で落馬し、それがもとで亡くなったと言われている等、興味深い内容でした。



当日は80名の参加があり、大盛況のうちに終了しましたが、今後も辻堂の歴史についての企画を望む声が多数寄せられました。

## ◆人形劇のつどい (11月29日) 参加団体：ピッコロ プログラム：人形劇「チムとチェリーと いぼいぼ魔女」他

## ◆図書館の朗読タイム (11月17日) 参加団体：「渚の風」朗読会 プログラム：『ホームレス中学生』他

# 湘南大庭市民図書館

## ◆あきのおはなし会 (11月3日)

今回も恒例のあきのおはなし会を行いました。橙色に色づいたカラスウリなどに加え、『今森光彦の楽しい切り紙』(山と溪谷社刊)を参考に作った秋色の草の切り絵で室内を装飾しました。

おはなし『風の神と子ども』『ホレおばさん』  
大型絵本『ちびゴリラのちびちび』  
詩 『おちゃのじかん』『まつぼっくり』  
まきまきパネルシアター  
『はろるとむらさきのくれよん』  
([村岡はらぺこあおむし]制作)

まきまきパネルシアターは、ロール状の背景を動かしながら、はろるとむらさきのくれよんとともに月夜の冒険をしていくもので、最後に6メートル以上もあるロールを全部広げて、はろるとがたどった道を子どもたちに見てもらいました。



# やまだ むねむつ 山田 宗睦

## プロフィール

1925年（大正14年）下関生まれ。

幼少期を稚内、金沢、函館で過ごし、旧制水戸高校から、京都大学哲学科を卒業。桃山学院大学教授、同短大副学長等を経て、1995年まで関東学院大学教授。現在、『日本書紀』の研究に専念している。

1999年、神奈川文化賞受賞。

1990年、辻堂市民図書館建設計画検討委員長。藤沢市辻堂在住。

## 原点は白兔伝説への疑問

「哲学は、難しいものではなく、誰もが持っている知を愛する心と好奇心を満たすもの。そのことが学問の本質につながる。」とおっしゃる山田宗睦氏。

子どもの頃、「なぜなんだろう」「どうして」と色々な事に疑問をもつ少年だった。その疑問が何年も経て突然すっきり解ける喜び。氏のものごとへの好奇心は、夢多き少年のように今もつきることがない。

氏が小学生で「因幡の白うさぎ」を読んだ時のこと。島のうさぎが、サメをだましてその背中を数えながら海を渡り、大陸まであと一步のところでお断りして痛い目に遭う。そのうさぎの失敗のくだりよりも、「なぜ、うさぎは、大陸ではなく、海の中の小さな島に住んでいたんだろう」がどうしても気になり先生に質問。先生からは叱られたが、やがて、京大時代に、うさぎは住んでいた竹林が大水で流され小島に流れ着いたとの記述を古典『塵袋』で見つけ、もち続けてきた謎がついに解けた。その時の充足感が人生の原点とも思えるという。

何か疑問を持ったとき、その疑問を問い続けることが問題の解決に繋がること、また、学問には専門分野に限らないさまざまな方面への興味と知識が重要とも付け加えられた。

辻堂市民図書館の建設にあたっては、建設計画検討委員長として、お力をいただきましたが、図書館に関する思い出をひとつ。

函館時代に中学生時代の山田氏が図書館を訪ねた時のこと。まだ子どもだった氏を、一人前の利用者として対応し、資料を案内し提供してもらえたことが、とても良い印象として残っているとのこと。図書館として、あらためて自らの有り様を考えさせられました。

現在、氏は4つのカルチャーセンターの講師を勤め、週5日東奔西走の忙しい日々を送っていらっしゃいますが、合間を縫ってしっかりと好きな旅行を計画・実践して楽しんでおられます。

また、高校生時代から興味をもったという『日本書紀』について、広い視野と多方面にまたがる知識からの新しい解釈で紹介する出版計画が進行中とのことで、今から楽しみです。

### 〔所蔵作品〕

『山本周五郎』 芸術生活社 1974年  
『道の思想史 上・下』 講談社 1975年  
『花の文化史』 読売新聞社 1977年など多数。

藤沢市図書館では、山田氏の作品約80冊を4館で所蔵しています。

### 編集後記

今号の図書館だよりは、昨年の秋に催された各市民図書館の行事を中心にお届けしました。

東風吹かば  
にほひおこせよ  
梅の花  
主なしとて  
春な忘れそ

と詠った学問の神様菅原道真の干支は今年と同じ丑年とされています。図書館・図書室の本が皆様の生涯学習の一助になればと願います。

発行 藤沢市総合市民図書館  
藤沢市湘南台 7-18-2  
TEL 0466-43-1111